



2025年4月8日

各位

会社名 エコモット株式会社
代表者名 代表取締役社長 入澤 拓也
(コード: 3987、東証グロース、札証アンビシヤス市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 武田 研輔
(TEL. 011-558-2211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年10月15日に公表いたしました2025年8月期中間期(2024年9月1日~2025年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年8月期中間期連結業績予想数値の修正(2024年9月1日~2025年2月28日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想(A)	1,451	42	37	19	3.62
今回修正予想(B)	1,411	44	49	19	3.69
増減額(B-A)	△40	2	12	0	
増減率(%)	△2.8	4.8	32.4	0.0	
(参考)前期中間期実績 (2024年8月期中間期)	1,412	3	17	△26	△4.96

2. 2025年8月期中間期個別業績予想数値の修正(2024年9月1日~2025年2月28日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想(A)	621	41	28	5.42
今回修正予想(B)	546	△8	△10	△2.02
増減額(B-A)	△75	△49	△38	
増減率(%)	△12.1	—	—	
(参考)前期中間期実績 (2024年8月期中間期)	864	48	40	7.75

3. 修正の理由

(1) 連結業績

当中間期連結累計期間につきましては、以下(2)で記載のとおり IoT ビジネスイノベーションで計画を下回ったものの、株式会社GRIFYが担うコンストラクションソリューションが「現場ロイド」をはじめ、生産性向上AIカメラ「PROLICA」や配筋検査ARシステム「BAIAS」等の様々なソリューションを全国的に拡販を進め、売上高及び各段階利益の予算を超過して着地したことにより売上高、営業利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は概ね計画どおりの着地となりました。

また、持分法適用関連会社の業績が計画を上回ったこと等が要因で経常利益が計画値を上回る見込みとなりましたので、上方修正いたします。

なお、通期業績予想につきましては、米国の相互関税政策をはじめとする地政学的不確実性のリスクが顕在化しておりますが、現時点では堅調な業績推移が想定されることから据え置きいたします。

(2) 個別業績

当中間期累計期間につきましては、売上高、経常利益及び中間純利益が計画値を下回る見込みとなりましたので、下方修正いたします。

要因ですが、IoT ビジネスイノベーションにおいて大型開発案件のシステム検証等に時間を要したこと、当期は当社でも受注しております au リニューアルエネルギー株式会社向けの太陽光発電設備案件の系統連系に遅延が生じたことによるものです。

なお、通期業績予想につきましては、上記の期ズレ案件総額4億円超が当第3四半期以降に順次売上計上されていく予定となるため据え置きいたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上